エコアクション２１

環境経営レポート

活動期間：令和7年1月～令和7年１２月

＜約20年使用したクレーンを更新　令和７年３月＞

型式　HCL-50G

吊上荷重：26kN　2650kgf　作業半径：18.4m

ブーム速度：ｲﾝﾅｰﾌﾞｰﾑ　64°　起22sec　伏10sec　　ｱｳﾀﾌﾞｰﾑ105°　屈8sec　伸10sec
電動機：油圧ポンプ　90kw　　オイルポンプ0.75kw

令和8年5月11日

大分エコセンター株式会社

目　次

１．　組織の概要　・・・１～7

1）事業者名、代表者名など
2）所在地
3）環境管理責任者名及び担当者連絡先
4）事業内容
5）事業規模
6）事業年度
7）許可の内容
8）施設等の状況
9）廃棄物処理フロー

２．　対象範囲　・・・　8

1）認証・登録範囲
2）レポート対象期間及び発行日
3）EA21活動組織図
4）EA21役割と責任及び権限

３．　環境経営方針　・・・　9

４．　環境経営目標

令和5年～令和7年　・・・ 10

令和8年～令和10年　・・・ 11

５．　環境経営計画　・・・ 12

６．　環境経営目標の実績　・・・ 13

７．　環境経営計画の取組結果とその評価　・・・ 14

８．　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無　・・・ 15

９．　代表者による全体の評価と見直しの結果

１０．　エコアクション21活動　・・・ 17.18

1．組織の概要

1）事業者名、代表者名など

大分エコセンター株式会社

代表取締役　大山　泰正

設立　　平成11年11月19日
資本金　1，000万円

2）所在地

〒870-0108　大分県大分市大字三佐字大新田1354番地の8

3）環境管理責任者名及び担当者連絡先

環境管理責任者	業務管理部長		平尾　敏美
担当者			平尾　敏美
連絡先		TEL	097－521－1146
		FAX	097－522－3195
		E-mail	misa@eco-center.co.jp

4）事業内容
① 産業廃棄物の収集・運搬業及び中間処理業
② 一般廃棄物中間処理業
③リサイクル業

5）事業規模

活動規模	単位	令和5年	令和6年	令和7年
産業廃棄物処理量	t	11,455	10,082	8,907
売上高	百万円	626	555	510
従業員数	人	12	13	13
床面積	㎡	11,806	11,806	11,806

※定義　　処理量：受託した産業廃棄物の処理量
売上高：大分エコセンター㈱の売上高

※令和 7年内訳　　（単位：t）

一般廃棄物収集運搬量	0	産業廃棄物収集運搬量	4,554
一般廃棄物中間処理量	0.694	産業廃棄物中間処理量	8,907

6）事業年度

1月～12月

7）認証登録の範囲

全組織、全活動を対象とする。

7）許可の内容

大分エコセンター㈱

許可証	許可	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日	事業の範囲	
					事業区分	廃棄物の種類
産業廃棄物処分業	大分市	08820066979	H27.6.18	R11.1.19	中間処理 （破砕、圧縮） （選別、切断） （圧縮・固化）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、木くず、紙くず、ゴムくず、金属くず、繊維くず、がれき類、鉱さい、ｶﾞﾗｽくず及び陶磁器くず、汚泥
産業廃棄物収集運搬業	大分市	08810066979	H27.1.30	R11.1.19	収集運搬	金属くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、木くず、紙くず、ｶﾞﾗｽくず及び陶磁器くず、ゴムくず、汚泥繊維くず、がれき類、燃え殻、廃アルカリ、廃油、廃酸、ばいじん、動植物性残さ、動物のふん尿、施行令に掲げる産業廃棄物
		積替保管施設 面積：51.45㎡ 容量：33.6 ㎥ 高さ： 0.85m		種類：金属くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、廃酸（廃バッテリーに限る）		
産業廃棄物収集運搬業	大分県	04402066979	H27.2.2	R11.2.1	収集運搬	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、、金属くず、ガラスくず等、廃石膏ボード、動物のふん尿、がれき類、ゴムくず、鉱さい、ばいじん、13号廃棄物
産業廃棄物収集運搬業	福岡県	04000066979	H27.10.8	R9.10.7	収集運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、ガラスくず等、紙くず、木くず、鉱さい、
産業廃棄物収集運搬業	熊本県	04305066979	H28.6.6	R10.6.1	収集運搬	紙くず、木くず、金属くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
特別管理産業廃棄物収集運搬業	大分県	04452066979	H27.10.24	R9.10.23	収集運搬	廃石綿等、廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥
特別管理産業廃棄物収集運搬業	大分市	08860066979	H27.10.19	R9.9.26	収集運搬	廃石綿等、廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥
		積替保管施設 面積：20.0㎡ 容量：16.0 ㎥ 高さ： 0.8m		種類：廃酸（廃バッテリー）		
一般廃棄物処分業許可	大分市	指令第 123号	R4.4.26	R10.4.5	中間処理（破砕）	事業系ごみ（廃タイヤ、木くず）
一般廃棄物収集運搬業	大分市	指令第 181号	R5.4.1	R9.3.31	収集・運搬	特定家庭用機器廃棄物 事業系ごみ（紙くず・木くず・繊維くず その他事業系一般廃棄物）
引取業登録通知書	大分市	20881000127	H29.9.21	R9.9.10		使用済自動車
古物商	大分県	第941180000491	H12.10.20	—		
おおいた優良産廃処理業者認定証	大分市	認定 第5号	H27.1.30	R11.1.19		
おおいた優良産廃グリーン事業者認証取得	大分県	GC－0021	R5.10,24	R10.3.31		炭素部門
計量証明事業登録証	大分県	第 168号	H27.6.29	—	質量	

8）施設等の状況

（1）運搬車両・重機の種類と台数

ダンプ車（6台）

大型つかみ（3台）

トレーラー（1台）

車種	車両番号	所有者		使用者	
			大山金属	エコセンター	オーライン
大型つかみ	大分 100 は 2491	大山金属	50%	50%	
	大分 100 は 2764	〃	〃	〃	
	大分 100 は 4253	〃	〃	〃	
8t つかみ	大分 100 は 4779	〃	〃	〃	
7t ユニック	大分 100 は 2208	大山金属	50%	50%	
ダンプ車	大分 100 は 5723	大山金属	20%	80%	
	大分 100 は 3371	大山金属	〃	〃	
	大分 100 は 9441	オーライン		30%	70%
	大分 100 か 8004	オーライン		〃	〃
	大分 100 か 8935	オーライン		〃	〃
	大分 100 か 9751	オーライン		〃	〃
	大分 100 は 4861	エコセンター		〃	〃
2t トラック	大分 100 す 1310	エコセンター		30%	70%
トレーラー	大分 100 か 8781	オーライン			100%
乗用車	大分 400 あ 1197	エコセンター	60%	40%	
	大分 400 あ 1204	大山金属	20%	80%	
	大分 581 う 8663	エコセンター	20%	80%	

マグ付ユンボ（3台）

切断ユンボ（2台）

つかみユンボ（4台）

タイヤショベル（3台）

フォークリフト（3台）

＊中型つかみ（2台）
＊7tユニック（1台）
＊2tトラック（1台）
＊乗用車（3台）

＊放射線検知装置

（2）処理施設の種類

1．Aヤード（鉄スクラップヤード：大山金属エリア）

① 94kw スクラップベーラー（プレス機：圧縮）

施設の種類 ： 圧縮施設
処理能力 ： **100 t/日**
種類 ： 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、**金属くず**、ｺﾞﾑくず、紙くず、ガラスくず及び陶磁器くず、繊維くず

自動販売機、業務用冷機などの大型機器や缶類を、搬入・搬出しやすくするため、サイコロ状に圧縮処理します。（70cm角）

② 432kw スクラップシャー（ギロチン：切断）

施設の種類 ： 切断施設
処理能力 ： **396 t/日**
種類 ： 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、**金属くず**、ｺﾞﾑくず、紙くず、木くず、繊維くず

大量のスクラップをスムーズな流れで切断する最新のせん断処理機械です。

2．Bヤード（産業廃棄物ヤード：大分エコセンターエリア）

③ 336kw 廃タイヤ破砕プラント（ﾀｲﾔ・ﾍﾞﾙﾄ：破砕5t/h）

施設の種類 ： 破砕施設
処理能力 ： **24.4 t/日**
種類 ： **廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類**、
木くず、金属くず

使用済みタイヤを破砕後、タイヤチップ燃料としてリサイクルします。普通自動車タイヤで3,000本/日の処理が可能。

④ 675kw シュレッダープラント（廃プラ類：破砕）

施設の種類 ： 破砕施設
処理能力 ： **31.2 t/日**
種類 ： **廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類**、
木くず（66.4t/日）、紙くず
がれき類（177.6t/日）、
繊維くず、ゴムくず、がれき類、金属くず、
ガラスくず及び陶磁器くず、鉱さい

大型スクラップや複合素材物・廃プラ・木くずなどを破砕・選別処理し、金属を効率よく回収します。

⑤ 165kw バイオマス燃料製造プラント（木くず：破砕4～6t/h）

施設の種類 ： 破砕施設
処理能力 ： **48 t/日**（木くず）
種類 ： **木くず**、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、がれき類、マットレス、布団

当初は根株や伐採木・間伐材をチップ化し、木質バイオマス燃料を製造する破砕プラントとして設置したが、バイオマスは原料確保、販売の維持継続で難しい面があり、現状は廃プラ、マットレス、布団等が中心になっている。

3. Dヤード（廃プラスチック燃料ヤード：大分エコセンターエリア）

⑥ 495kw フォーミング抑制剤・RPF製造設備（破砕・成形）

施設の種類 ： 破砕施設（A）
圧縮・固化施設（B）
処理能力 ： **17.6 t/日（混合物）**
種類 ： **廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、ゴムくず、紙くず、木くず、繊維くず**

廃プラスチック、木くずを主原料とするRPF製造や、
比重調整用の鉄粉を混合して成形固化したフォーミング抑制剤を製造する。

4. Eヤード（都市鉱山ライン：大分エコセンターエリア）

⑦ 44kw 小型家電破砕・選別ライン（破砕・選別：3．2t/8h）⇒携帯電話：25,000個／日

施設の種類 ： 破砕施設
処理能力 ： **3..2 t/日**
種類 ： 金属くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、
ガラスくず及び陶磁器くず

携帯電話やデジタルカメラなど、小型家電を破砕し、
レアメタルなど希少金属を選別、回収します。

リサイクルの流れ

【廃棄物処理フロー】

大山金属株式会社
大分エコセンター株式会社
オーライン株式会社

排出業者

総合リサイクルセンター

製造工場
建設現場
事業所全般
その他一般

ご相談・見積・事務手続き（ご契約等）

契約
委託契約の締結
M
マニフェストの発行

回収、受け入れ（大きさ、長さを問わず受入可能）

鉄スクラップ
・鉄パイプ類　・ガス切り鉄
・鉄筋類　・大型機械設備
（金属探知機、洗車機、ﾀﾝｸ、室外装置）等

非鉄スクラップ
・ステンレス　・マンガン
・真鍮　・ミックスメタル
・銅　・アルミニウム 等

デジタル機器
・OA機器、事業系ﾊﾟｿｺﾝ類
・携帯電話　・ｹﾞｰﾑ機話
・電子基盤　・ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ 等

廃タイヤ
・各種車両用ﾀｲﾔ　・ﾍﾞﾙｺﾝｺﾞﾑ
・金物付きゴム類 等

廃プラスチック
・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｺﾝﾃﾅ　・ポリタンク
・軟質系プラ　・硬質系プラ
・パレット　・発砲ｽﾁﾛｰﾙ 等

廃木材
・解体材　・間伐材　・枕木
・建設廃材　・木製パレット
・事業所などの木製家具 等

混合廃材
・建設廃材　・処理困難物
・事業系混合廃材 等

放射線検知器・危険物除去

事前チェック（フロンガス、油、電池、水銀灯、鉛をチェック）

選別（人手と機械選別）

破砕・切断・圧縮・成型

ユーザー

製鉄所

製錬所

製紙工場

セメント工場

合金メーカー

適正処理

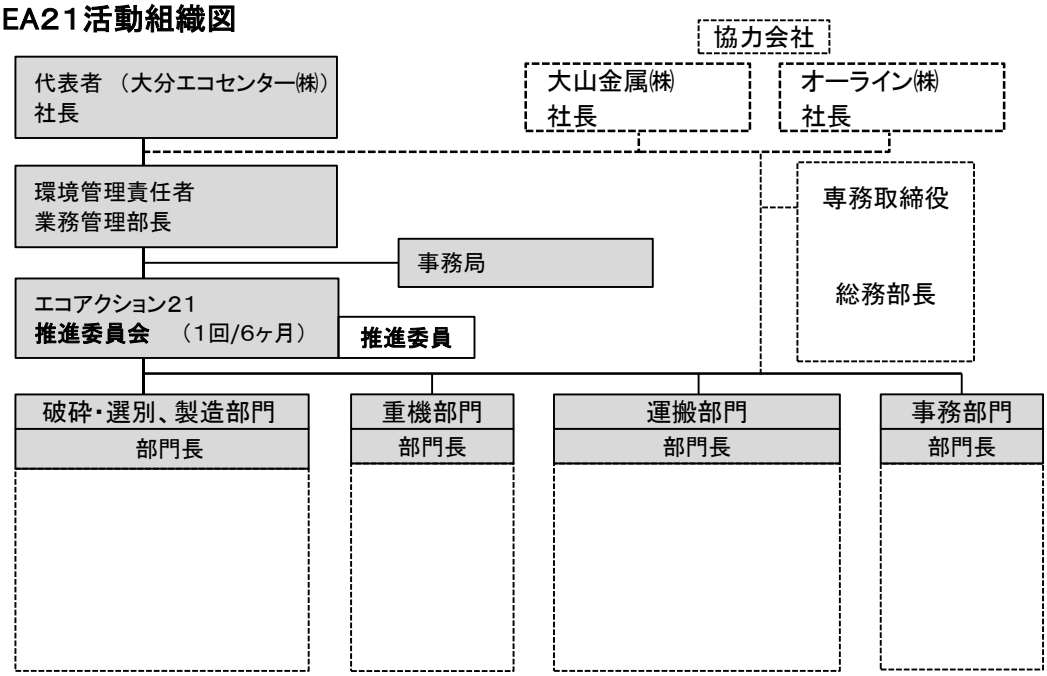
2. 対象範囲

令和6年12月31日　現在

1）認証・登録範囲　：　全組織・全活動

2）対象期間：令和 7 年1月1日～令和 7 年12月31日

3）**EA21活動組織図**



4）EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・各部門の環境目標、環境活動計画、実施体制の確認と全体調整 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境活動レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の任命補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	・環境目標、環境活動計画の伝達 ・社内の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
部門長	・自部門における環境活動及び環境活動計画の企画・作成・実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書の作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

３．環境経営方針

■基本理念

大分エコセンターは、廃棄物を適切に分別処分し、資源リサイクルを積極的に進め、再資源化に取り組みます。また、当社の総合リサイクル事業を通じて、地域社会に貢献しながら環境経営の継続的なサービスを提供します。更に、エコアライアンスネットワーク（環境保護の地域連携協働体）を展開し、経済活動と地球環境が好循環する持続可能な社会の実現を目指します。

■行動指針

１．具体的に次の事に取組みます。

①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。

②計画的、効率的な設備稼働による消費電力の削減を推進する。

③当社の事業を通じて廃棄物の再資源化率100%を目指す。

④水資源を有効に活用し、節水に努める。

⑤教育訓練や研修を通じて業務の生産性向上を図り、環境負荷を低減する。

⑥原材料及び事務用品のグリーン購入に努める。

⑦事業所周辺の清掃活動や緑化維持を推進する。

⑧外部の企業や団体と連携して新たな再資源化事業を推進する。

⑨見学者を積極的に受け入れるとともに、会社として社外後援会等で地域との連携に努めます。

これらについて環境目標、環境経営方針を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

３．適用されるこの環境経営方針は、全従業員に周知するとともに社内外に公表します。
また、定期的に法令の営業情報を収集し社内で情報を共有化する事により法令順守を推進します。

改定日：　令和3年10月18日

大分エコセンター株式会社

代表取締役
大山　泰正

4-1 環境経営目標（令和5年～令和7年）

各年度の対象期間は、 1月～12月

環境方針	選択課題	基準年度 令和4年 （2022年）	令和5年度 （2023年） 目標	令和6年度 （2024年） 目標	令和7年度 （2025年） 目標
1	二酸化炭素排出量原単位	1.727	1.710	1.693	1.693
	kg-CO2／売上高百万円	kg－CO2	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △2%
1-1	ガソリン消費量原単位	3.760	3.722	3.684	3.684
	ℓ／売上高百万円	ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △2%
1-2	軽油消費量原単位	0.654	0.647	0.641	0.641
	ℓ／売上高千円	ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △2%
2	電力消費量原単位	2.215	2.192	2.170	2.170
	kWh／売上高千円	kWh	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △2%
3	受託した廃棄物の再資源化	92.0	80.0	80.0	80.0
	（再資源化率）	%	再資源化は、基本的に80%が限度と考えます。		
4-1	上水使用量原単位	1.310	1.297	1.283	1.283
	ℓ／売上高百万円	m3	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △2%
4-2	工業用水使用量原単位	5.544	5.488	5.432	5.432
	ℓ／売上高百万円	m3	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △2%
5	業務の生産性向上	教育訓練・研修	教育訓練・研修	教育訓練・研修	教育訓練・研修
	（教育訓練や研修）	4回／年	4回／年	4回／年	4回／年
6	社会貢献への参加	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年

※電力のCO2調整後排出係数は、九州電力の2022年度の0.437kg-CO2/kWhを使用。

※再資源化率＝（再資源化量＋再資源化委託量）／総量

4-2 環境経営目標（令和8年～令和10年）

各年度の対象期間は、 1月～12月

環境方針	選択課題	基準年度 令和7年 （2025年）	令和8年度 （2026年） 目標	令和9年度 （2027年） 目標	令和10年度 （2028年） 目標
1	二酸化炭素排出量原単位	1,628	1,465	1,319	1,187
	kg-CO2／売上高百万円	kg－CO2	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
1-1	ガソリン消費量原単位	2,978	2,680	2,412	2,170
	ℓ／売上高百万円	ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
1-2	軽油消費量原単位	0.433	0.390	0.351	0.316
	ℓ／売上高千円	ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
2	電力消費量原単位	1,065	958	863	776
	kWh／売上高千円	kWh	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
3	受託した廃棄物の再資源化	78.9	78.9	78.9	78.9
	（再資源化率）	%	再資源化は、基本的に80%が限度と考えます。		
4-1	上水使用量原単位	886	797	718	646
	ℓ／売上高百万円	m3	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
4-2	工業用水使用量原単位	4,127	3714	3343	3008
	ℓ／売上高百万円	m3	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
5	業務の生産性向上	教育訓練・研修	教育訓練・研修	教育訓練・研修	教育訓練・研修
	（教育訓練や研修）	4回／年	4回／年	4回／年	4回／年
6	社会貢献への参加	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年

※電力のCO2調整後排出係数は、九州電力の2024年度の0.472kg-CO2/kWhを使用。

※再資源化率＝（再資源化量＋再資源化委託量）／総量

5. 環境経営計画

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動（活動）	頻度
二酸化炭素排出量削減	1-1	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日
			2. アイドリングを少なくする。	毎日
			3. 社用車の使用頻度を必要最小限に抑える。	毎日
	1-2	軽油消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日
			2. アイドリングを少なくする。	毎日
			3. 効率的な配車計画で走行距離を減らす。	毎日
			4. 重機作業は過剰な負荷をかけない。	毎日
	2	電力消費量削減	1. デマンド制御に基き、計画的・効率的に設備を稼働する。	毎日
			2. 冷暖房設定温度の厳守。夏25℃、冬24℃を基本とする。	毎日
			3. エアコンのフィルター清掃。	毎月
3		受託した産業廃棄物の再資源化率　向上	1. 引取作業時の不要物排除。	毎日
			2. 選別ラインの有効活用。	毎日
4		水資源の有効活用	1. 上水使用時は垂れ流しをしない様節水に努める。	毎日
			2. 計画的な操業で工業用水の節水に努める。	毎日
5		業務の生産性向上	1. エコアクション21取組説明会の実施。	都度
			2. 関係法規の研修会実施。	都度
			3. 非常事態を想定した訓練の実施。	都度
			4. 一仕事・一片付けの確実な実施。	毎日
6		社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	都度
			2. 各現場1回／日以上のゴミ拾い活動。	毎日
			3. 社内緑地帯の維持管理活動（草刈等）。	都度
			4. 見学者の受入れ体制の充実。	都度

6. 環境経営目標の実績

対象期間:令和7年1月～令和7年12月

評価基準:○100%以上　△90%以上100%未満　×90%未満

環境方針番号	選択課題		基準年度	令和7年度目標(2025年)	令和7年度(2025年)	目標	評価
			令和6年度(2024年)	基準年度比	実績	達成率	
1	二酸化炭素排出量原単位	計	1,693	1,693	1,628	104%	○
	kg-CO2／売上高百万円				(830229kg-CO2)		
		評価と本年度の取組内容	・処理量の減少によりｶﾞｿﾘﾝ・軽油・電力消費量共に減少し原単位でCO2排出量の目標は達成できた。 ・引き続きCO2削減に向けた取り組みを実施する。				
1-1	ガソリン消費量原単位	計	3,684	3,684	2,978	124%	○
	ℓ／売上高百万円				(1519 ℓ)		
		評価と本年度の取組内容	・引き続きエコドライブを継続して行く。 遠距離使用が減少したことにより、減少した。				
1-2	軽油消費量原単位	計	0.641	0.641	0.433	148%	○
	ℓ／売上高千円				(221077ℓ)		
		評価と本年度の取組内容	・運搬料の減少、エコドライブ、アイドリングストップ活動を実施し原単位で目標達成。 ・引き続きエコドライブを継続して行く。				
2	電力消費量原単位	計	2,170	2,170	1,065	204%	○
	kWh／売上高千円				(543065 kWh)		
		評価と本年度の取組内容	・処理量は若干減っているが計画的・効率的な設備稼働を実施することにより目標達成できた。 ・今後もデマンド制御に基づいた設備稼働を実践する				
3	受託した産業廃棄物の再資源化(再資源化率:%)	計	80.0	80	78.9	99%	△
		評価と本年度の取組内容	・混合廃棄物、処理困難物品が増加しており、人海戦術で破砕処理前に分別して努力しているが目標は未達。 ・引き続き排出事業者と連携し再資源化向上を目指してして行く				
4-1	上水使用量原単位	計	1,283	1,283	886	145%	○
	ℓ／売上高百万円				(452㎥)		
		評価と本年度の取組内容	・工場、事務所周りを中心に上水の節水に努めたことにより使用量が減少し、目標達成 ・引き続き節水に努める。				
4-2	工業用水使用量原単位	計	5,432	5,432	4,127	132%	○
	ℓ／売上高百万円				(2105㎥)		
		評価と本年度の取組内容	・工場、事務所周りを中心に上水の節水に努めたことにより使用量が減少し、監視カメラ設置により節水を行い目標達成、引き続き節水に努める。				
5	業務の生産性向上 （教育訓練や研修）		教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年	100%	○
6	社会貢献への参加		地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動やボランティア参加 2回／年	100%	○

※電力のCO2調整後排出係数は、九州電力の2021年度の0.382kg-CO2/kWhを使用。

※原単位の分母「売上高円＝510百万円」を使用。

7. 環境経営計画の取組状況とその評価

基準:〇できた　△一部達成　×できなかった　　評価日　R8年1月20日

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動(活動)	頻度	対象部門		評価者
					事務所	現場	平尾
二酸化炭素排出量削減	1-1	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日	〇		〇
			2. アイドリングを少なくする。	毎日	〇		〇
			3. 社用車の使用頻度を必要最小限に抑える。	毎日	〇		〇
	1-2	軽油消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日		〇	〇
			2. アイドリングを少なくする。	毎日		〇	〇
			3. 効率的な配車計画で走行距離を減らす。	毎日	〇	〇	〇
			4. 重機作業は過剰な負荷をかけない。	毎日		〇	〇
	2	電力消費量削減	1. デマンド制御に基き、計画的・効率的に設備を稼働する。	毎日		〇	〇
			2. 冷暖房設定温度の厳守。夏25℃、冬24℃を基本とする。	毎日	〇	〇	〇
			3. エアコンのフィルター清掃。	毎月	〇		〇
3		廃棄物の再資源化率向上	1. 引取作業時の不要物排除。	毎日		〇	〇
			2. 選別ラインの有効活用。	毎日		〇	〇
4		水資源の有効活用	1. 上水使用時は垂れ流しをしない様節水に努める。	毎日	〇	〇	〇
			2. 計画的な操業で工業用水の節水に努める。	毎日		〇	〇
5		業務の生産性向上	1. エコアクション21取組説明会の実施。	都度	〇	〇	〇
			2. 関係法規の研修会実施。	都度	〇	〇	△
			3. 非常事態を想定した訓練の実施。	都度	〇	〇	〇
			4. 一仕事・一片付けの確実な実施。	毎日		〇	△
6		社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	都度	〇	〇	〇
			2. 各現場1回／日以上のゴミ拾い活動。	毎日	〇	〇	〇
			3. 社内緑地帯の維持管理活動(草刈等)。	都度	〇	〇	〇
			4. 見学者の受入れ体制の充実。	都度	〇	〇	〇

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

	関係法令		チェック項目	チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	1	一般廃棄物処分業の許可	一般廃棄物処分業許可証	平尾	R8.1.15	○
		2	一般廃棄物収集運搬業の許可	〃　収集運搬業許可証	平尾	R8.1.15	○
		3	産業廃棄物管理票（ﾏﾆﾌｪｽﾄ）	マニフェスト管理状況確認	平尾	R8.1.15	○
		4	ﾏﾆﾌｪｽﾄ交付状況の行政報告	交付等状況報告書	平尾	R8.1.15	○
		5	産業廃棄物処分業の許可	産業廃棄物処分業許可証	平尾	R8.1.15	○
		6	産業廃棄物収集運搬業の許可	〃　収集運搬業許可証	平尾	R8.1.15	○
		7	収集運搬車の表示及び許可証の写し、ﾏﾆﾌｪｽﾄ携帯	現場確認	平尾	R8.1.15	○
		8	特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証	平尾	R8.1.15	○
		9	特別産業廃棄物の保管措置	現場確認	平尾	R8.1.15	○
		10	産業廃棄物処理施設の設置	産業廃棄物処理施設設置申請書	平尾	R8.1.15	○
		11	産業廃棄物の委託契約	委託契約書許可証の写し	平尾	R8.1.15	○
		12	産業廃棄物の保管場所表示保管基準遵守	現場確認	平尾	R8.1.15	○
2	浄化槽法（浄化槽の保守点検及び清掃）	1	浄化槽管理者の保守点検及び清掃	浄化槽保守点検報告書	平尾	R8.1.16	○
		2	浄化槽の定期検査	検査結果報告書	平尾	R8.1.16	○
3	使用済自動車の再資源化等に関する法律	1	引取業者の登録及び更新	引取業者登録通知書	平尾	R8.1.16	○
4	消防法	1	指定可燃物貯蔵所又は取扱の届出	指定可燃物貯蔵所又は取扱届出書	平尾	R8.1.16	○
		2	消防用設備等の点検	消防用設備等点検結果報告書	平尾	R8.1.16	○
5	水質汚濁防止法	1	生活環境に係る一律排水基準	濃度計量証明書	平尾	R8.1.16	○
		2	生活排水による水質汚濁の防止と処理	現場確認	平尾	R8.1.16	○
6	大気汚染防止法	1	大気汚染防止	現場確認	平尾	R8.1.16	○
7	振動規制法	1	特定施設の設置届	廃棄物処理施設設置許可証	平尾	R8.1.16	○
8	フロン排出抑制法	1	エアコン点検	エアコン点検表	平尾	R8.1.16	○

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	大分エコセンター株式会社
見直し実施日	令和8年　1月30日 （　金　）
出席者	代表者　大山　泰正　　環境管理責任者　平尾　敏美 事務局　平尾　敏美

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント(次年度取組)
1　環境関連法規等の遵守状況確認結果	環境関連法規等の遵守状況で特に問題はなかった。	更に、エコアクション21を従業員一人一人が再認識して、日々の行動に繋げるよう努力してください。
2　環境目標の達成状況	稼働率UPに伴いCO2排出量減となり原単位では目標を達成できた。	可能な範囲でCO2排出量の削減に努めて下さい。
3　環境活動計画の実施状況	工場排水には特に注意し、今年は工場内の側溝の本格的に行った。4月1日より朝・夕のアルコールチェックは法改正により管理者により運転手のみ開始。	今後も計画的に実施して下さい。
4　問題点の是正、予防の状況	特に問題はなかった。	問題なし
5　外部からの苦情の有無及び対応結果	外部からの苦情等は1件もなかった。	問題なし
6　環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	新型コロナの影響で全員の訓練はしなかったが一部の人で行った。	防災訓練は定期的にテーマを決めて実施して下さい。
その他	廃棄物処理場の自然発火による火災が頻繁に発生しており、当社としても廃プラ、木くず等は、在庫を確認して休日前等は極力少なくする。	リチウム電池の搬入禁止の徹底、在庫量を確認して、状況により放水等を行い自然発火防止に務めること。

見直しの必要性判断と代表者の指示	① 環境経営方針	継続する
	② 環境経営目標	継続する
	③ 環境経営計画	継続する
	④ 環境経営システム	継続する
	⑤環境経営計画実施体制の推進	継続する
	その他の指示	特になし

10. エコアクション21活動

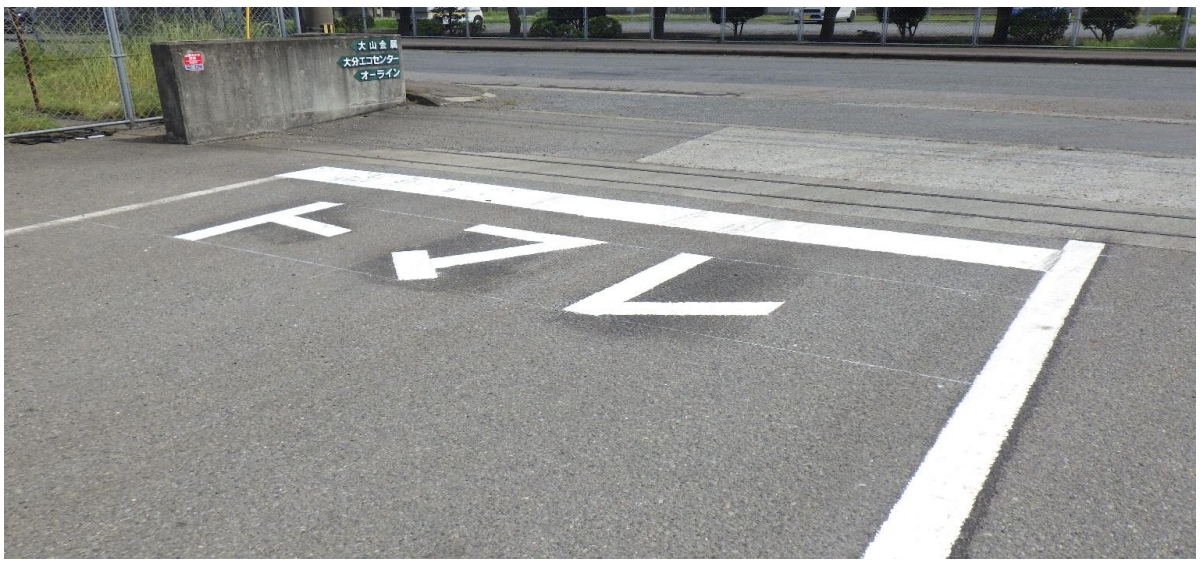
1）教育訓練状況（4月18日）

2）スクラップクレーン更新

約20年間使用した破砕機投入用クレーンを更新しました。（詳細は更新工事参照）

3）排水溝の清掃（6月20日）

4）構内白線引（11月7日）



（記録④）

環境・安全教育実施記録

（令和7年度）

	実施日	場所	対象（出席者）	教育の内容	講師
①	1月10日	社員詰所	社員全員	令和7年度行動計画について	社長
②	2月19日	社員詰所	社員全員	「交通非常事態宣言」発令に伴う交通事故防止対策の強化	環境管理責任者
③	3月28日	社員詰所	社員全員	春の全国交通安全運動の実施について	環境管理責任者
④	4月11日	社員詰所	社員全員	熱中症予防対策実行管理体制の制定について	環境管理責任者
⑤	5月29日	社員詰所	社員全員	「交通非常事態宣言」発令に伴う交通事故防止対策の強化	環境管理責任者
⑥	6月27日	社員詰所	社員全員	おおいた夏の事故ゼロ運動の実施について	環境管理責任者
⑦	7月28日	社員詰所	社員全員	「交通非常事態宣言」発令に伴う交通事故防止対策の強化	環境管理責任者
⑧	8月5日	社員詰所	社員全員	緊急時の夜間訓練	環境管理責任者
⑨	9月19日	社員詰所	社員全員	秋の全国交通安全運動の実施について	環境管理責任者
⑩	9月26日	社員詰所	社員全員	産業廃棄物処理業許可における火災事故防止等の防止について	環境管理責任者
⑪	10月1日	社員詰所	社員全員	「交通非常事態宣言」発令に伴う交通事故防止対策の強化	環境管理責任者
⑫	10月28日	社員詰所	社員全員	過積載絶滅運動の実施について	環境管理責任者
⑬	12月1日	社員詰所	社員全員	おおいた冬の事故ゼロ運動の実施について	環境管理責任者
⑭	12月26日	社員詰所	社員全員	エコアクション21の今後の活動について	社長